

認知症高齢者グループホーム管理者
小規模多機能型居宅介護事業所管理者 各位

横浜市健康福祉局事業指導室長

地域住民と連携した夜間想定避難訓練の実施及び避難訓練実施状況の報告について（依頼）

日ごろから、本市高齢者福祉行政に御協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、近年各地で発生した認知症高齢者グループホーム等の火災により、多数の入居者が亡くなっています。これらの火災は、全て職員体制が手薄となる夜間帯に発生しており、グループホームや小規模多機能型居宅介護事業所などの小規模福祉施設における防火安全面の向上には、自動火災通報装置やスプリンクラーの設置のほか、日頃から地域住民と連携（協力）した入居者の避難誘導訓練の実施などに取り組むことが不可欠です。

このようなことから、本年度健康福祉局では消防局と協働し、①地域住民と連携した夜間想定避難訓練のモデル実施（5月：グループホーム ソフィアいずみ、7月：シャローム・ミルトスの木 鶴ヶ峰本町）、②横浜市グループホーム連絡会ブロック会での、訓練開催に向けた話し合い（6～8月）、夜間想定訓練マニュアルの策定（9月）に取り組んでいます。

つきましては、貴事業所での消防訓練の実施に当たっては、「地域住民と連携した夜間想定避難訓練」を実施し、より効果的な防災体制の構築に努めていただきますようお願いいたします。

お忙しい中、大変恐縮ではありますが、避難訓練実施状況について、別紙にてご報告いただきますよう、お願いいたします。

1 訓練の実施主体

認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所等の小規模福祉施設及び地域住民

2 訓練のねらい

「失敗」から学び「気付き」を得る！！

3 訓練内容

（1）火災発生から入居者の避難誘導など、一連の訓練を近隣住民と連携して行う。

（2）訓練参加者による意見交換会等

4 避難訓練実施状況の報告

避難訓練実施状況報告書にご記入の上、平成22年9月15日までに以下の担当までEメールでご提出ください。

担 当：健康福祉局事業指導室 (kf-jigyosha@city.yokohama.jp)

【お問合せ先】横浜市健康福祉局事業指導室

担当 坂口、長田、野池

電話 045-671-3413、2356

FAX 045-681-7789